

講習会・勉強会活動報告

テーマ：「自動車運転再開に関する取り組み～評価の流れと自動車学校との連携～」

講師：医療法人畏敬会 井野辺病院 リハビリテーション部

副部長 加藤 貴志 先生

日時：平成 27 年 9 月 11 日 17:00～19:00

内容：講義

参加人数：約 70 名

今回は、多くの先行研究をもとに自動車運転に関するリハビリの現状や、神経心理学的検査の考え方、井野辺病院での取り組み等、様々な視点からご講演いただきました。



まず、運転支援の重要性について説明がありました。その中で、運転再開に関する要因や患者・家族に対する研究結果等から、個人の権利と公共の安全の両立を考える必要性について学びました。また、神経心理学的検査においては、検査による運転可否の予測は 100%ではないという事実の一方で、医療的立場から対象者の内面で何が起きているかを、検査結果をもとに説明することの重要性を再認識することができました。

次に、井野辺病院での取り組み「CARD」について、事例を交えてご紹介いただきました。具体的な評価の流れから教習所との連携の方法について、詳しく説明していただき、大変参考になりました。また、連携のポイントやOTの役割について、具体例を交えながらご講義いただいたことで、実車運転評価における新たな視点を学ぶことが出来ました。



講義の最後に、「運転技能はリハビリで向上する」というお話がありました。今後は、運転技能の向上が可能なアプローチの検討が必要であり、運転支援に関わる者として、当院においても運転技能向上に有効な訓練を試行していく必要があることを、改めて認識致しました。

最後に、加藤先生には限られた時間の中で多くの視点からご講義いただきまして、誠にありがとうございました。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)